

第三次国有林野施業実施計画書

(上川南部森林計画区)

計画期間 (平成 2 1 年 4 月 1 日
平成 2 6 年 3 月 3 1 日)

策定年月日 : 平成 2 1 年 3 月 3 0 日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源かん養タイプにおける施業群別の面積等	1
	(3) 水土保持林の水源かん養タイプにおける施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 資源の循環利用林の生産群別の面積	2
	(5) 資源の循環利用林の生産群別の標準伐採量	2
	(6) 伐採総量	3
	(7) 更新総量	4
	(8) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	9
	(1) 保護林の名称及び区域	9
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	10
6	レクリエーションの森の名称及び区域	11
7	その他必要な事項	15
	(1) 施業指標林、試験地等	15
	(2) フィールドの提供	18

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別区域
三機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。

(2) 水源かん養タイプにおける施業群別の面積等

(単位：ha)

区 分	面 積	取 扱 い の 内 容	伐 期 齢 又 は 回 帰 年	
			樹 種	
単 層 林 施 業 群	1,125	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長 期 単 層 林 施 業 群	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複 層 林 施 業 群	588	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混 交 林 施 業 群	43,986	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林施業】	30年	
育 成 天 然 林 施 業 群	74,800	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林施業】		
天 然 生 林 施 業 群	20,795	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林施業】		
計	141,294			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入のため、必ずしも一致しない(以下の表についても同じ)。

(3) 水土保持林の水源かん養タイプにおける施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	89	-	92	7,331	12,467	3,466

(4) 資源の循環利用林の生産群別の面積

(単位：ha)

区分	面積	生産目標等			伐期齢 又は 回帰年
		利用形態	樹種	目標径級	
単層林 生産群	758	一般材	トドマツ	22～38	65
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	80
			カラマツ・グイマツ	22～38	50
			その他針葉樹	22～38	60
長期単層林 生産群	-	一般材	トドマツ	40～	90
			アカエゾマツ・エゾマツ	40～	110
			カラマツ・グイマツ	40～	80
			その他針葉樹	40～	90
複層林 生産群	-	一般材	トドマツ	22～38	100
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	120
			カラマツ・グイマツ	22～38	80
			その他針葉樹	22～38	90
混交林 生産群	3	一般材	トドマツ	22～38	65
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	80
			カラマツ・グイマツ	22～38	50
			その他針葉樹	22～38	60
育成天然林 生産群	4	一般材	トドマツ	22～38	20年
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	
			カラマツ・グイマツ	22～38	
			その他針葉樹	22～38	
			ナラ・ウダイカ ^ハ ・ダケカンバ ^ハ ・ニレ・カツ ラ・シナ ^{セン} ・ヤチダ ^モ	46～	
			クミ ^ミ ・アサダ ^ダ ・ホオ ^ホ ・キハダ ^ダ ・イヤ	36～	
			サクラ類・シラカンバ ^バ ・ハン ^ン ・ド ^ロ	24～	
			エンジュ ^{ジュ} ・アオダ ^ダ モ	16～	
天然生林 生産群	34	一般材	トドマツ	22～38	20年
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	
			カラマツ・グイマツ	22～38	
			その他針葉樹	22～38	
			ナラ・ウダイカ ^ハ ・ダケカンバ ^ハ ・ニレ・カツ ラ・シナ ^{セン} ・ヤチダ ^モ	46～	
			クミ ^ミ ・アサダ ^ダ ・ホオ ^ホ ・キハダ ^ダ ・イヤ	36～	
			サクラ類・シラカンバ ^バ ・ハン ^ン ・ド ^ロ	24～	
			エンジュ ^{ジュ} ・アオダ ^ダ モ	16～	
計	799				

注) 印は、「上木最終伐採林齢」、 印は、「択伐を開始する林齢」である。

(5) 資源の循環利用林の生産群別の標準伐採量

各生産群の面積が少ないことから、標準伐採量は定めない。

(6) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林			地		林地 以外	合計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計			
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	4,654	(1,014) 25,360	30,014	15,900	339,232	-	339,232	
	水源かん養タイプ	単層林		(242) 6,178					6,178
		長期単層林							
		複層林		(71) 1,641					1,641
		混交林		(10,728) 249,866					249,866
		育成天然林	177	(315) 7,684					7,861
		天然生林							
		小計	177	(11,356) 265,369					265,546
計	4,831	(12,370) 290,729	295,560						
森 林 と 人 と の 共 生 林	自然維持タイプ		(293) 2,360	2,360					
	森林空間利用タイプ		(1,060) 25,412	25,412					
	計		(1,353) 27,772	27,772					
資 源 の 循 環 利 用 林	単層林		(74) 2,751	2,751					
	長期単層林								
	複層林								
	混交林								
	育成天然林								
	天然生林								
	計		(74) 2,751	2,751					
合計	4,831	(13,796) 321,252	326,083	15,900	341,983	-	341,983		
年平均	966	(2,759) 64,250	65,217	3,180	68,397	-	68,397		

注) 上段()は、間伐面積である。

(7) 更新総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資源の 循環 利用林	合 計
		国土保全 タイプ	水源かん養 タイプ	計	自然維持 タイプ	森林空間利用 タイプ	計		
人 工 造 林	単層林造成		5	5					5
	複層林造成	15		15					15
	計	15	5	20					20
天 然 更 新	天然下種第1類	6	57	63	4	30	34		97
	天然下種第2類								
	ぼう芽更新								
	計	6	57	63	4	30	34		97
合 計		21	61	82	4	30	34		117

(8) 保育総量

(単位：ha)

区 分		水 土 保 全 林			森 林 と 人 と の 共 生 林			資源の 循環 利用林	合 計
		国土保全 タイプ	水源かん養 タイプ	計	自然維持 タイプ	森林空間利用 タイプ	計		
保 育	下 刈	2,053	10,478	12,531		1,544	1,544	144	14,219
	つる切り	182	2,188	2,370		165	165		2,535
	除 伐	121	1,459	1,580		110	110		1,690

3 林道の整備に関する事項

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
上川中部森林管理署						
その他	開設	渠水沢	272~274	3,170		旭川市、作業道格上
		盤水沢	275,277,278	4,735		旭川市、作業道格上
		協和左1号	16	2,000		愛別町
		右奥平	2072,2078	1,500		上川町、作業道格上
		三角点沢右股	2293,2294	1,000		上川町
		天幕沢	2316	3,800		上川町、作業道格上
		天幕沢本流	2319	1,000		上川町
	計	7路線		17,205		
基幹	改良	忠別	2310	600	2	上川町、路体強化、落石防止網工
	計	1路線		600	2	
その他	改良	オロウエン	300	200	1	旭川市、路体強化、落石防止網工
		内大部	302	100	1	旭川市、落石防止網工
		泉沢	32	18	1	愛別町、永久橋
		朝陽山	2210	30	1	上川町、路体強化
		三角点支流	2290	1,800	1	上川町、自動車道格上
		銀河	2337	10	1	上川町、永久橋
	計	6路線		2,158	6	
上川中部森林管理署合計						
開設	その他	7路線		17,205		
	計	7路線		17,205		
改良	基幹	1路線		600	2	
	その他	6路線		2,158	6	
	計	7路線		2,758	8	
上川南部森林管理署						
その他	開設	カツラ沢	391	1,300		富良野市
		迷沢	123,124	1,200		南富良野町
		ポントマム左1号	232,233,234	5,000		占冠村、作業道格上
		カシウンナイ	1101,1212	2,000		占冠村
		カイウンナイ左線	1101,1213	2,400		占冠村
	計	5路線		11,900		
基幹	改良	ベベルイ	410~414	200	1	富良野市、路体強化
		金山	1035,1036,1060,1061	400	3	南富良野町、路体強化
		幌加沢	1068~1070,1073	200	1	南富良野町、路体強化
		ポントマム	235~237,239,240,243	300	2	占冠村、路体強化
		ユワベツ	1131,1132	200	1	占冠村、路体強化
		占川	1141,1142	300	2	占冠村、路体強化
		三点沢	1141	200	1	占冠村、路体強化
	双珠別	225,246,252,1221,1223,1225,1226,1228~1230,1232,1241,1244,1245	500	3	占冠村、路体強化	
計	8路線		2,300	14		
その他	改良	山部川	383	100	1	富良野市、路体強化
		18線沢	366	100	1	富良野市、路体強化
		御茶々岳	366,369	100	1	富良野市、路体強化
		峰泊	376,379~383	300	2	富良野市、路体強化
		高原	402	200	1	富良野市、路体強化
		ルベシナイ	3~6	200	1	南富良野町、路体強化
		オンコノ沢	121	100	1	南富良野町、路体強化
		一休沢	1114,1115	300	2	占冠村、路体強化
		無名沢	1133,1134	300	2	占冠村、路体強化
	双珠別左7号	1230,1231	100	1	占冠村、路体強化	
計	10路線		1,800	13		

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
上川南部森林管理署合計						
開設	その他	5 路線		11,900		
	計	5 路線		11,900		
改良	基幹	8 路線		2,300	14	
	その他	10 路線		1,800	13	
	計	18 路線		4,100	27	
森林計画区合計						
開設	その他	12 路線		29,105		
	計	12 路線		29,105		
改良	基幹	9 路線		2,900	16	
	その他	16 路線		3,958	19	
	計	25 路線		6,858	35	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位 置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
上川中部森林管理署				
1069,1070林班	保全施設	溪間工	1箇所	美瑛町
1070,1071林班	"	"	1箇所	"
1072林班	"	"	5箇所	"
2030,2033林班	"	"	1箇所	上川町
2075林班	"	"	1箇所	"
2101林班	"	"	1箇所	"
2150,2152林班	"	"	1箇所	"
2168,2170林班	"	"	1箇所	"
2218林班	"	"	1箇所	"
2219～2245林班	"	"	5箇所	"
2282,2287林班	"	"	1箇所	"
2295林班	"	"	1箇所	"
2340林班	"	"	5箇所	"
2063林班	"	山腹工	1箇所	上川町
2101林班	"	"	1箇所	"
2315林班	"	"	1箇所	"
2340林班	"	"	2箇所	"
2290,2293林班	保安林の整備	植栽工	20ha	上川町
107～108,116,125,292林班	"	本数調整伐	77ha	旭川市
2141,2179林班	"	"	12ha	上川町
上川中部森林管理署計	保全施設	溪間工	25箇所	
		山腹工	5箇所	
		計	30箇所	
	保安林の整備	植栽工	20ha	
		本数調整伐	89ha	
		計	109ha	
上川南部森林管理署				
336林班	保全施設	溪間工	1箇所	富良野市
339林班	"	"	1箇所	"
376林班	"	"	1箇所	"
1074～1076林班	"	"	3箇所	南富良野町
1107林班	"	"	1箇所	占冠村
1112林班	"	"	1箇所	"
1114林班	"	"	1箇所	"
1117林班	"	"	1箇所	"
1244林班	"	"	1箇所	"
1245林班	"	"	1箇所	"
1257林班	"	"	1箇所	"
1068林班	"	山腹工	1箇所	南富良野町
1107～1109林班	保安林の整備	植栽工	39ha	占冠村
1069林班	"	本数調整伐	30ha	南富良野町
1127林班	"	"	32ha	占冠村
1251林班	"	"	27ha	"
1261林班	"	"	60ha	"

位 置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
上川南部森林管理署計	保全施設	溪間工	13箇所	
		山腹工	1箇所	
		計	14箇所	
	保安林の整備	植栽工	39ha	
		本数調整伐	149ha	
		計	188ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	38箇所	
		山腹工	6箇所	
		計	44箇所	
	保安林の整備	植栽工	59ha	
		本数調整伐	238ha	
		計	297ha	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森林生態系保護地域	上川中部森林管理署				
	大雪山忠別川源流部 森林生態系保護地域	H6既設		別表 参照	エゾマツ・トドマツの北方常緑針葉樹をはじめとする多様な森林群落が原生的状態で、大規模なまとまりをもって存する当該地域の森林を保護することにより、森林生態系を中心とした自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに資することを目的として設定する。
	(保存地区)		2,128.97		
	(保全利用地区)		8,738.32		
	小 計		10,867.29		
	森林計画区計	1箇所	10,867.29		
林 木 遺 伝 資 源 保 存 林	上川中部森林管理署				
	旭川ダケカンバ15	H1既設	35.34	2072ろ	上川地区に群生するダケカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			20.00	2078に	
	計		55.34		
	旭川エゾマツ16	H1既設	12.66	2291い	上川地区に群生するエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			57.09	2292い	
	計		69.75		
	旭川シロエゾマツ17	H1既設	1.90	2321こ	上川地区に群生するシロエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川カツラ、 オニグルミ18	H1既設	14.36	288い	神居古潭地区に群生するカツラ、オニグルミを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川チョウセン カラマツ20	H2既設	8.73	141へ	鷹栖地区に植栽したチョウセンカラマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			1.01	142い	
	計		9.74		
	旭川ウダイカンバ22	H2既設	5.35	1026へ	上依真布地区に群生するウダイカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川ダケカンバ23	H2既設	6.50	1026と	上依真布地区に群生するダケカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川エゾマツ24	H2既設	2.25	1070い	白金地区に群生するエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			8.00	1070ぬ	
	計		10.25		
	旭川チョウセン ヤマナラシ25	H2既設	1.98	1074ほ	白金地区に群生するチョウセンヤマナラシを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			0.10	1074る	
			1.50	1074の	
	計		3.58		
	旭川シラカンバ ウダイカンバ39	H10既設	13.52	1073よ	白金地区に群生するシラカンバ、ウダイカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			9.02	1073た	
計		22.54			
旭川シウリザクラ、 アズキナシ40	H13既設	36.31	304ほ	神居古潭地区に群生するシウリザクラ、アズキナシを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。	
		4.80	304へ		
計		41.11			
林	上川南部森林管理署				
	旭川ダケカンバ、 ウダイカンバ26	H2既設	4.00	427い	上富良野地区に群生するダケカンバ、ウダイカンバを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
			2.12	430は	
	計		6.12		
旭川トドマツ、 アカエゾマツ27	H2既設	10.70	1082い	金山地区に群生するトドマツ、アカエゾマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。	

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
林保 存 遺 伝 資 源	上川南部森林管理署				
	旭川ハリギリ、キハダ、イヌエンジュ28A	H2既設	4.40	1090へ	金山地区に群生するハリギリ、キハダ、イヌエンジュを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川ハリギリ、キハダ、イヌエンジュ28B	H2既設	1.15	101い	金山地区に群生するハリギリ、キハダ、イヌエンジュを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	森林計画区計	15箇所	262.79		
植 物 群 落 保 護 林	上川中部森林管理署				
	十勝岳泥流保護林	S50既設	253.51	別表参照	大正15年の十勝岳爆発による泥流跡地に生立した天然樹木等の保護を図り、学術研究に資する。
	小松原保護林	S50既設	37.17	別表参照	安政年間の爆発による泥流跡地に生立した天然樹木等の保護を図り、学術研究に資する。
	大雪原生林保護林	S45既設	526.69	別表参照	大雪山系石狩川源流部の代表的な原生林で、学術研究に資する。
	大雪山系高山帯保護林	S50既設	8,814.68	別表参照	大雪山系高山帯及びこれに続く亜寒帯林の植物群落を保護し、学術研究に資する。
	上川南部森林管理署				
	原始が原保護林	S50既設	937.93	別表参照	十勝山系における高層湿原に生立する高山植物の保護を図り学術研究に資する。
	夕張岳高山植物保護林	H10既設	483.53	別表参照	夕張岳周辺は、蛇紋岩、かんらん岩など超塩基性岩帯で、ユウパニコザクラ、ユウパリスウ、シソバキスミレ等の固有種も多く、植物学的にも貴重であり学術研究に資する。
	上川中部森林管理署及び上川南部森林管理署				
	十勝山系高山帯保護林	S50既設	3,745.37 2,500.53	別表参照	高山帯に生立している高山植物（キバナシャクナゲ、ツガザクラ、エゾコザクラ、イワウメ、イワヒゲ、コマクサ等）の保護を図る。（上段、上川中部森林管理署、下段、上川南部森林管理署）
	計	6,245.90			
	森林計画区計	8箇所	17,299.41		
生 息 特 定 保 護 動 物	上川南部森林管理署				
	シマフクロウ生息地保護林	H16既設	1,097.52	非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。
	森林計画区計	1箇所	1,097.52		
総合計		25箇所	29,527.01		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
緑 の 回 廊	上川南部森林管理署				
	大雪・日高緑の回廊	既設	4,601.06	別表参照	野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すため、大雪山忠別川源流部森林生態系保護地域等と日高山脈中央部森林生態系保護地域を結ぶ緑の回廊である。
	森林計画区計	1箇所	4,601.06		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	備 考			
上川中部森林管理署									
自然休養林	嵐山・神居 自然休養林 (自然観察教育ゾーン) (風景ゾーン) (風致探勝ゾーン)*	既設	14.12 249.81 788.42	別表参照	石狩川両岸の優れた景勝地と一体となった森林で、外国樹種見本林、自然教育の場、保健文化の面で寄与している。	[*]は、保健機能森林に該当する森林			
	小 計		1,052.35						
	白金 自然休養林 (自然観察教育ゾーン)* (森林スポーツゾーン)* (野外スポーツゾーン) (風致探勝ゾーン)*	既設	147.51 318.76 23.50 463.77				別表参照	森林を主体とした風景の優れている地域であり、自然休養の場として自然探勝利用等、国民の福祉厚生の増進に寄与している。	[*]は、保健機能森林に該当する森林
	小 計		953.54						
森林計画区計		2箇所	2,005.89						
上川中部森林管理署									
自然観察	台場野鳥 愛護活動林	既設	45.75	別表参照	旭川市の近郊にあり、小中学生の自然科学教育の場として地域振興に寄与している。	保健機能森林に該当する森林			
	中里野鳥愛護活動林	既設	2.00	別表参照	地元小中学生の自然教育の場として寄与している。				
	愛山野鳥愛護活動林	既設	1.10	別表参照	地元小中学生の自然教育の場として寄与している。				
	富沢野鳥愛護活動林	既設	4.60	別表参照	地元小中学生の自然教育の場として寄与している。				
上川南部森林管理署									
教育林	下金山野鳥愛護活動林	既設	3.18	別表参照	下金山の下金山小学校に近接し、野鳥の保護観察地。				
	金山野鳥愛護活動林	既設	1.25	別表参照	金山の金山小学校に近接し、野鳥の保護観察地。				
	北落合 野鳥愛護活動林	既設	0.80	別表参照	この地方の特色を持った森林で野鳥の種類も多く、自然観察の場として親しまれている。				
	森林計画区計	7箇所	58.68						
上川中部森林管理署									
スポーツ森林	笹の平 森林スポーツ林	既設	172.09	別表参照	国民の健康の維持増進に寄与している。	保健機能森林に該当する森林			

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	備 考
森 林 ス ポ ー ツ 林	上川中部森林管理署					
	東川青少年野営場	既設	5.30	別表参照	亜高山帯に存する野営場として青少年のスポーツの場として適している。	保健機能森林に該当する森林
	上川南部森林管理署					
	つつじが丘野営場	既設	61.36	別表参照	山部市街から南西約3kmの芦別岳の麓に位置し、自然に親しみながら、情操教育の場として登山、ハイキングの基地として広く利用されている。	保健機能森林に該当する森林
	森林計画区計	3箇所	238.75			
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	上川中部森林管理署					
	カムイスキ - リンクス	既設	188.69	別表参照	良質な雪と長期間利用できるスキー場として、国民の健康の維持増進に寄与している。	
	上川南部森林管理署					
	三段山スキ - 場	既設	22.61	別表参照	十勝岳温泉と白金温泉との間にあり、雄大な十勝岳風景林を背景に山岳スキー場として広く親しまれている。	
	富良野スキ - 場	既設	456.02	別表参照	富良野市から西へ約2kmの北の峰北側に位置し、交通の便も良く、各コースとも緩急に富み、各種大会が開催されるなど初心者から上級者まで広く親しまれている。	
	占冠スキ - 場	既設	4.70	別表参照	隣接する民有地と併せて、スキー場として地元住民に利用されている。	
	南富良野スキ - 場	既設	9.80	別表参照	幾寅市街地に近く初中級者向きコースとして町民に親しまれている。	
	石勝高原 トマム山スキー場	既設	1,623.01	別表参照	一大リゾートとして中核をなすスキー場で本州方面はもとより海外にも知られている。	
	森林計画区計	6箇所	2,304.83			
風 景 林	上川中部森林管理署					
	上川浮島風景林	既設	601.57	別表参照	高層湿原、浮島、高山植物等の優れた景観が広く親しまれている。	

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	備考	
風 景	上川中部森林管理署 沼の原風景林		既設	473.60	別表参照	石狩川源流部の溶岩台地で大小の沼が散在し、高山植物が多く登山者に親しまれている。	
	赤岳風景林		既設	176.05	別表参照	大雪山連峰の主峰「赤岳」の雄大な山岳景観、豊富な高山植物、天然記念物のウスバキチョウ等が広く親しまれている。	
	半面山風景林		既設	494.50	別表参照	嵐山、神居自然休養林に続く景勝で、保健文化の面で寄与している。	
	江丹別憩の森風景林		既設	157.51	別表参照	江丹別地域の憩いの場として保健的な面で寄与している。	
林	上川南部森林管理署 双珠別湖風景林		既設	427.07	別表参照	地元住民の森林浴の場として親しまれている。	
	赤岩風景林		既設	60.83	別表参照	村立自然公園が隣接した森林で自然景観に優れた地元住民に森林浴の場として親しまれている。	
	森林計画区計		7箇所	2,391.13			
	上川中部森林管理署 層雲峡風致探勝林		既設	1,096.13	別表参照	大雪山国立公園の表玄関として広く知られている。大小の滝、温泉等のレクリエーション資源を有し、黒岳に向けてのロープウェイ、リフトも設置されており登山基地としても利用者が多い。	保健機能森林に該当する森林
風 致 探 勝 林	高原温泉風致探勝林		既設	508.97	別表参照	大雪山系の温泉のうち最も高い標高にあり、秋の紅葉等優れた自然景観は広く親しまれている。	保健機能森林に該当する森林
	天人峡風致探勝林		既設	492.98	別表参照	滝、渓谷、森林とが一体となって優れた自然美を構成しており全国的に知られている。	保健機能森林に該当する森林
	旭岳風致探勝林		既設	277.39	別表参照	山岳地帯の景勝地として、全国的に知られている。	保健機能森林に該当する森林

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	備 考	
風 致 探 勝 林	上川南部森林管理署						
	十勝岳風致探勝林	既設	206.90	別表参照	大雪山国立公園内にあり、上部は高山植物群、下部はダケカンバ、トドマツ等の天然林で雄大な自然景観は多くの人に親しまれている。	保健機能森林に該当する森林	
	金山湖風致探勝林	既設	900.49	別表参照	湛水面積920haの金山湖の湖畔にあり、ミズナラ、イタヤ等の広葉樹の豊富な森林と湖水が一体となって優れた自然景観をなしている。また、夕張岳の眺望が優れ、接続する民有地と併せてサイクリング等の施設を有し、レクリエーション地域を形成しており、ハイキング等で多くの人々が訪れている。		
	森林計画区計	6箇所	3,482.86				
	総 合 計	31箇所	10,482.14				

注) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

7 その他必要な事項
 (1) 施業指標林、試験地等

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
遺 伝 子 保 存 林	上川中部森林管理署				
	クロエゾマツ白金A	昭和48年	4.00	1003い	林木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。
	シラカバ山部	昭和50年	4.25	1027ぬ	
	アカエゾマツ 上富良野A	昭和50年	4.94	1044ぬ	
	アカエゾマツ 上富良野B	昭和50年	4.94	1044る	
	クロエゾマツ白金B	昭和48年	3.91	1045ほ	
	アカエゾマツ白金A	昭和50年	5.19	1045り	
	アカエゾマツ白金B	昭和50年	4.87	1045む	
	ケヤマハンノキ白金	昭和50年	2.32	1061ろ	
	アカエゾマツ大雪A	昭和51年	4.85	2104い	
	アカエゾマツ大雪B	昭和51年	4.38	2104は	
	アカエゾマツ 層雲峡A・B	昭和49年	13.12	2114ろ	
	上川南部森林管理署				
	トドマツ落合	昭和48年	5.86	132か	林木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。
	エゾマツ占冠A・B	昭和49年	10.24	230ろ	
	クロエゾマツ山部	昭和48年	2.36	380い	
	アカエゾマツ山部B	昭和49年	3.28	380ろ	
	アカエゾマツ山部A	昭和49年	6.32	380は	
	トドマツ山部	昭和47年	5.05	390ろ	
ウダイカンバ山部	昭和50年	4.55	1120い		
森林計画区計	18箇所	94.43			
検 定 林	上川中部森林管理署				
	北適応旭11号	平成元年	1.74	7あ	試植検定林は、外国からの導入樹種や在来品種の林分特性、立地適応性等を検定する林分である。 次代検定林は、親木の評価を目的に子供群を植栽し、親木間に現れる形質上の優劣差を検定する林分である。
	北適応旭5号	昭和54年	0.98	108と	
	北異郷土旭4号	昭和39年	3.40	234い	
	北異郷土旭2号	昭和38年	2.40	234ろ	
	北異郷土旭12号	昭和41年	8.85	264は	
	北異郷土旭14号	昭和42年	5.61	264に	
	北異郷土旭5号	昭和39年	1.20	265ほ	
	北旭15号	平成4年	7.63	1055れ	
	北異郷土旭11号	昭和41年	4.53	2143い	
北異郷土旭8号	昭和40年	3.19	2143ろ		
森林計画区計	10箇所	39.53			
施 業 指 標 林	上川中部森林管理署				
	エゾマツ長伐期 施業指標林	平成11年	3.10	109に	森林を健全な状態に育成し、長期間に渡って良好な森林の状態を維持させる森林施業を確立する。
	カラマツ長伐期 施業指標林	平成11年	3.00	141ろ	
	トウヒ長伐期 施業指標林	平成11年	41.79	301ろ	
	計		40.55	302ろ	
	トドマツ長伐期 施業指標林	平成11年	3.90	302ほ	
	広葉樹二次林 長伐期施業指標林	昭和46年	67.35	302ち	
択伐施業指標林	昭和45年	4.24	2330れ	天然更新補助作業により、漸伐林型へと誘導する手法を確立する。	

種類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
施 業 指 標 林	上川南部森林管理署				
	金山湖畔 複層林施業指標林	昭和46年	0.40	1083は	地域別に目標径級を定め、複層林型へと誘導する手法を確立する。
			3.00	1083に	
			0.48	1083ほ	
			0.80	1083へ	
			0.16	1083と	
			0.35	1083ち	
			0.80	1083り	
			0.20	1083ぬ	
			0.38	1083る	
			0.94	1083わ	
			0.15	1083か	
			6.61	1083よ	
			0.20	1083た	
			0.29	1083れ	
1.19	1083ら				
1.55	1083う				
11.66	1083の				
1.50	1083お				
0.02	1083ト				
計		30.68			
森林計画区計		7箇所	194.61		
展 示 林	上川中部森林管理署(上川南部森林管理署)				
	外国樹種見本林	明治31年	13.27	別表参照	明治31年に北海道における外国樹種の適応試験地として設定する。
	カンバ二次林施業林	昭和35年	3.00	1026い	昭和35年にカンバ二次林の林分構造を究明する試験地に設定されたが、現在は、広葉樹施業の展示林として設定する。
	十勝岳泥流跡植生林	(上川中部) 昭和22年 (上川南部) 昭和22年	0.09	1073に	昭和22年に十勝岳爆発に伴う泥流により、裸地化した林地の森林植生の回復状況等を得る試験地に設定したが、現在は、森林形成の過程を展示林として設定する。
			0.08	432は	
			0.20	432と	
			0.20	432ち	
	昭和31年	0.20	432り		
計		0.97			
十勝岳泥流 カンバ二次林	平成元年	0.52	1073め	十勝岳爆発63年後の森林植生と森林形成を展示林として設定する。	
森林計画区計		4箇所	17.76		
試 験 地	上川中部森林管理署				
	大雪原生林植物群落 保護林調査試験地	平成11年	26.83	254い	原生林の更新動態の調査試験地である。試験地設定面積は、うち2.00ha。
			6.81	260い	
	計		33.64		
	カラマツ 人工林収穫試験地	昭和42年	1.26	262い	収穫試験施行要綱に基づいた試験地である。
アカエゾマツ 人工林収穫試験地	平成11年	1.10	291ら		
上川トドマツ 産地試験地	昭和42年	4.47	2141い	天然生林から採取した種子の産地別特性を明らかにする。	

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
試験地	上川中部森林管理署				
	大雪施業試験地	昭和49年	5.00	2240は	山取り苗木を活用した天然更新補助作業により、漸伐林型へと誘導する手法を確立する。
	大雪植生調査試験地	昭和30年	0.25	2260ろ	風害跡地の植生変化を明らかにする。
			0.25	2276い	
			0.25	2290い	
			0.25	2290ろ	
			0.25	2320い	
	計		1.50		
	林冠破壊による 土壌の変化試験地	昭和31年	0.25	2260ろ	風害跡地の植生変化を明らかにする。
			0.25	2276い	
0.25			2290い		
0.25			2290ろ		
0.25			2320い		
計		1.50			
試験地	上川南部森林管理署				
	カラマツ 人工林収穫試験地	昭和41年	1.10	12い	収穫試験施行要綱に基づいた試験地である。
	トドマツ 人工林収穫試験地	昭和38年	1.10	428い	
	幾寅天然林 成長量固定試験地	平成13年	4.00	141ろ	トドマツ・エゾマツ天然林の成長予測試験地である。
	森林計画区計	10箇所	53.17		
モデル林	上川南部森林管理署				
	水土保全モデル林	平成12年	26.03	63は	
	森林計画区計	1箇所	26.03		
母樹林	上川中部森林管理署				
	林業種苗法に基づく 特別母樹・特別母樹林	昭和49年	4.45	2314は	アカエゾマツ(特別母樹林)
	上川南部森林管理署				
	林業種苗法に基づく 育種又は普通母樹・母樹林	平成20年	21.32	362イ	トドマツ(10.16ha)、耐凍トドマツ(1.39ha)、雑種カラマツ(9.60ha) (育種母樹林)
		平成20年	7.12	2148イ	アカエゾマツ(6.82ha) (育種母樹林)
森林計画区計	3箇所	32.89			
森林計画区合計	53箇所	458.42			

注) 備考欄の「収穫試験施行要綱に基づいた試験地」とは、現行あるいは将来予想される施業法によって施業した場合の成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する目的をもって設定した固定試験地である。

(2) フィールドの提供

(単位 : h a)

対 象 地	設 定 の 目 的	備 考
上川中部森林管理署		
353 ぬ	ふれあいの森 (天人峡ふれあいの森)	事業主体：自然・文化創造工場北海道事業部 協定面積：2.00ha (区域面積2.00ha)
上川南部森林管理署		
246 む	ふれあいの森 (トナムふれあいの森)	事業主体：森林人林業グループ 協定面積：2.05ha (区域面積2.05ha)
森 林 計 画 区 計		協定面積：4.05ha (区域面積4.05ha)
上川中部森林管理署		
266 は、に、ほ、へ と、ち、た、れ	遊々の森 (美遊の森)	事業主体：旭川市立富沢小学校 協定面積：47.60ha (区域面積47.60ha)
2139 い、ろ、ち、り ぬ、る、よ、れ	遊々の森 (上小の森「エミーナ」)	事業主体：上川町立上川小学校 協定面積：75.21ha (区域面積75.21ha)
上川南部森林管理署		
369 ほ、わ、ね、な ら、お	遊々の森 (太陽の里・ふれあいの森)	事業主体：富良野市、富良野生涯学習センター 協定面積：103.09ha (区域面積103.09ha)
370 と、ち、り、ホ		
371 と		
1267 ろ	遊々の森 (自然体感ニニウの森)	事業主体：占冠村 協定面積：253.63ha (区域面積253.63ha)
1268 い		
森 林 計 画 区 計		協定面積：479.53ha (区域面積479.53ha)
森 林 計 画 区 合 計		協定面積：483.58ha (区域面積483.58ha)